

科目名		学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位	
国語 I (現代文・古文) : Japanese I		1EC	2	90分×30回	履修	講義・通年	—	
教員名		中井 賢一 : NAKAI Kenichi						
授業概要	<p>検定教科書掲載の現代文・古文を素材として、国語科四内容(話す・聞く・書く・読む)についての基礎力を養う。 現代文領域においては、評論からは筆者の見解を、また、小説からは作品の主題を、いずれも正しく「読む」方法を学ぶ。 国語表現領域においては、自身の感想や意見を正しく「書く」ために、また、「話す」ために必要な知識や技能の習得を目指す。 古文領域においては、日本文化や文法事項の理解を図るとともに、暗唱等、音読を通して「聞く」力の向上も目指す。 また、語彙力の充実を図るため、漢字や古文単語について的小テストを行う。</p>							
到達目標				評価方法				
(1) 評論・小説の特徴を理解し、それぞれ正しく読解することができる。 (2) 自らの感想や意見を適切に表現することができる。 (3) 文語文法の基礎的事項を理解し、作品世界と日本文化に親しむことができる。				① 試験(中間・期末)(60%) ② 到達度確認テスト・漢字小テスト(20%) ③ 自学レポート(10%) ④ 受講態度(10%)				
学習・教育目標		G①		JABEE基準1(1)		—		
授 業 計 画	回	項	目	内		容		
	第1	ガイダンス 評論(1)①		授業の概要と授業の受け方について理解する。 山崎正和「水の東西」を通読する。		第16	詩歌①	詩歌四編を素材として、韻文の特徴とその読解方法について理解する。
	第2	評論(1)②		「水の東西」を素材として、評論の特徴とその読解方法について理解する。		第17	詩歌② 国語表現(2)	四編の詩歌について主題を分析した上で、そのうち一編を取り上げ鑑賞文を書く。
	第3	評論(1)③		"		第18	評論(2)①	鷲田清一「聴くと言うこと」を素材として、評論の読解方法に習熟する。
	第4	古文入門		「児のそら寝」を素材として、歴史的仮名遣いについて理解する。		第19	評論(2)②	"
	第5	竹取物語①		「なよたけのかぐや姫」「天の羽衣」を素材として、文語文法の特徴を理解しつつ、本文の内容を理解する。		第20	国語表現(3)	有名小説を素材として、聞き書きを行う。
	第6	竹取物語②		"		第21	土佐日記①	「馬のはなむけ」を暗唱し、古文のリズムを味わう。本文の内容を理解する。
	第7	竹取物語③		"		第22	土佐日記②	「帰京」を素材として、文法事項の理解を深め、作品の主題や成立背景について考える。
	第8	到達度の確認		文法事項と古語についての「到達度確認テスト」を行う。		第23	土佐日記③	"
	第9	国語表現(1)		ブレインストーミングの方法を用いて、テーマエッセイの創作を行う。		第24	和歌①	「万葉集」「古今和歌集」を素材として、作歌の背景や修辭法について理解しつつ、作品世界を読み味わう。変体仮名について概要を理解する。
	第10	小説(1)①		芥川龍之介「羅生門」を素材として、小説の特徴とその読解方法について理解する。		第25	和歌②	"
	第11	小説(1)②		"		第26	小説(2)①	川上弘美「花野」を素材として、小説の読解方法に習熟する。
	第12	小説(1)③		"		第27	小説(2)②	"
	第13	徒然草①		「つれづれなるままに」を暗唱し、古文のリズムに親しむ。本文の内容を理解する。		第28	小説(2)③	"
	第14	徒然草②		「高名の木登り」を素材として、文法事項の理解を進める。		第29	国語表現(4)	「花野」の学習を踏まえ、レポートを書く。
第15	徒然草③		「奥山に猫またといふものありて」を素材として、文法事項の理解を進める。		第30	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。 授業評価アンケートを行う。	
自学自習の内容	レポートを課す。							
関連科目								
教科書	『精選国語総合』東京書籍							
参考書	『ステップアップ高校漢字問題集』東京書籍、『カラー版新国語便覧』第一学習社							
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。							
副担当教員								
備考	国語 I (3単位) の最終評価は、国語 I (現代文・古文) と国語 I (漢文) を2:1として評価する。							